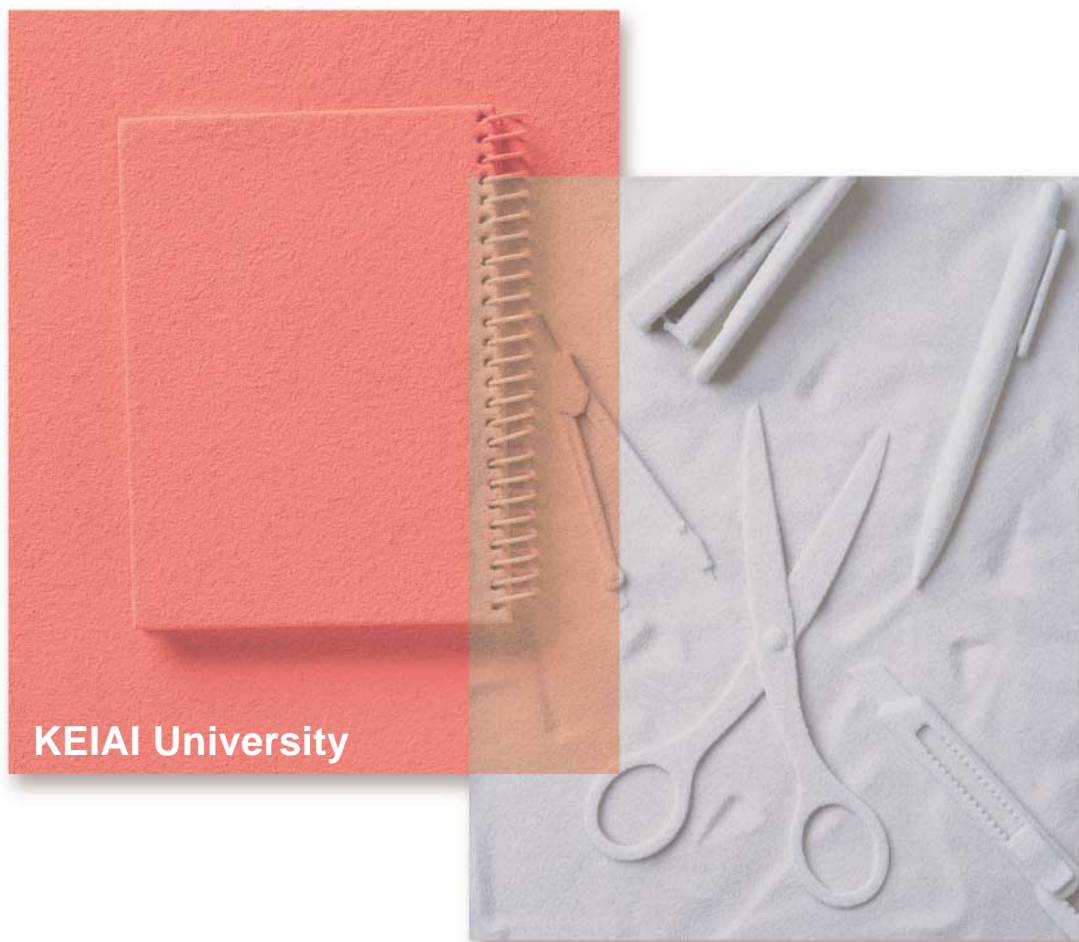


# 授業計画書

平成20年度 (2008年度)



KEIAI University



敬愛大学

国際学部

# 敬愛大学

## 2008年度「授業計画書 (Syllabus)」 利用について

---

授業計画書（シラバス）は各授業科目につき、その進行にともなって予定されている授業内容を示したもので、皆さんがこれから学び修得してゆく知識の全容です。私たちにとっては知識こそなにもものにも替えがたい「財産」です。だから、授業計画書は皆さんにとっても大学にとってもまた社会にとっても重要な財産の概念を示しています。

授業計画書は学生の皆さんにとっては、これからの進路や興味にあわせて授業科目を選択したり、予習・復習、また、研究や卒業論文を作成する場合の指針になります。また、教員にとっては、授業の進行状況をチェックするためのチェックリストの役目を果たします。

授業計画書を持ち運びに便利なようにコンパクトにしました。いつも携帯し、おいおいに有効活用するよう期待しています。

---

2008年度(平成20年度)

# 授業計画書

履修要項

カリキュラム



敬愛大学 国際学部

# 総目次

---

## 履修要項

I	2007～2008年度入学生用〈国際学専攻〉	5
II	2007～2008年度入学生用〈地域こども教育専攻〉	13
III	2006年度入学生用・2005年度入学生用〈国際協力量科〉	21
IV	教育職員免許状取得のための課程	39

## カリキュラム

I	2007～2008年度入学生(07カリキュラム)〈国際学専攻〉	60
II	2007～2008年度入学生(07カリキュラム)〈地域こども教育専攻〉	68
III	2006年度入学生(06カリキュラム)〈国際協力量科〉	72
IV	2005年度入学生(04カリキュラム)〈国際協力量科〉	80
V	07・06・04カリキュラム科目対応表	88
VI	各カリキュラム	91
VII	日本語教員養成講座	
	2007～2008年度入学生用	273
	2005～2006年度入学生用	275
VIII	児童英語講師養成講座	
	2007～2008年度入学生用	277
	2005年度入学生用	279
IX	カリキュラム表	283

# 履 修 要 項

- I 2007～2008年度入学生用  
〈国際学専攻〉 ..... 5
- II 2007～2008年度入学生用  
〈地域こども教育専攻〉 ..... 13
- III 2006年度入学生用・2005年度入学生用  
〈国際協力量科〉 ..... 21
- IV 教育職員免許状取得のための課程 ..... 39



# I

# 2007～2008年度入学生用履修要項 〈国際学専攻〉

## 1. 教育目標

国際学の学問的領域は広く、複雑で多様、かつ変化する現実と諸理論の検証作業の中から、真に深い認識が得られる。国際学科の教育上の目標は、「幅広い教養とグローバルな視野をもち、地球上の平和を希求する国際人であると同時に地域社会に貢献する人材」を養成することにある。

## 2. 教育課程について

1. 修業年限は4年、卒業要件単位は124単位以上と定められている（国際学部規定）。
2. 学年を前期と後期に分け、授業は通年科目、半期科目（前期・後期）の2つの区分によって行われる。

### 授業の単位計算

	授業時間 (1コマ90分)	授業時間 (通年30週・半期15週)	単位数
講義等	1コマ	半期	2単位
外国語	1コマ	半期	1単位
情報処理	1コマ	半期	1単位
演習	1コマ	通年	2単位
専門研究	1コマ	通年	4単位

### 授業時間

第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
9:00～10:30	10:40～12:10	13:10～14:40	14:50～16:20	16:30～18:00

## 3. 履修内容について

目標を達成するために4年間の教育課程は、高校から大学への導入としての「基礎科目（共通）」（1年次対象）から専門課程への導入となる「基礎科目（専門）」（2年次対象）、そして「専門科目（共通および系列）」（3・4年次対象）へと積み上げる方式を採用している。さらに、卒業後の職業人養成の基盤を創る「キャリア科目」、学びのフィールドを広げる「実習科目」、資格取得を旨とする「ライセンス科目」「教職科目」、そして本学で最も重視している「演習・専門研究」が含まれる。

### 基礎科目（共通）の特色

「国際関係論」を基本の必修科目とし、「社会・人文諸科学の原理的な諸科目」を幅広く配置して、国際学の学習に必要な基礎知識の裾野を広げることを目指している。

## 基礎科目（専門）の特色

日本が先進国として国際社会に存在するに至った歴史的歩み・政治・経済の現状を正確に理解するため、日本の「外交史」「政治」「経済」「社会」「文化」等に関する科目を配置するとともに、多様な国際社会の諸地域について学ぶ。また専門科目に繋げる基礎科目として比較文化論、憲法、民法、環境および地理に関する科目の他、経済・経営への入門諸科目を置く。

## 専門系科目の特色

国際学の理論と現実を理解し、世界の未来への展望をもちながら、各自の進路希望に沿って学習することができるように、次の2系列4コースごとの専門科目を置く。国際政治・経済・社会、南北問題、資源、環境などの共通科目、また複数の講師によるオムニバス方式の総合講座を設ける。

### ① 国際ビジネス系2コース

#### A. アジア&グローバル・コース

グローバル化する経済活動に注目し、21世紀に発展著しいアジアの諸社会とそのビジネスについて学ぶ。国際経済学を中心に、国際金融、貿易、投資、国際会計、国際企業、国際移動、実学的なファイナンス、マーケティング、ビジネス法務、起業論、経済・経営のためのデータ解析、フィールド調査などの諸科目、そして中国、東南アジア、朝鮮、南アジア諸地域についての専門科目が配置されている。

#### B. 地域ビジネス・コース

グローバル化する経済活動への理解を深めつつ、地元経済に根付いた地域ビジネスについて学ぶ。中堅企業の経営、起業、企業家論などの他、実学的ファイナンス、マーケティング、ビジネス法務、起業論、経済・経営のためのデータ解析、フィールド調査などの諸科目、千葉の経済構造、千葉経済特殊などの専門科目がある。

### ② 国際教養系2コース

#### C. 国際協力コース

国際社会の政治的経済的文化的側面を理解し、幅広い国際協力のあり方と実践活動について学ぶ。国際協力、NGO、援助政策、国際連合、国際紛争、安全保障論、世界の人権問題についての科目などが配置されている。国際援助の事例および実践活動を学びつつ、その効果や現状を理解するために、環境と開発、社会開発、環境アセスメント、大気・水圏環境論などの科目も配置されている。

#### D. 国際コミュニケーション・コース

異なる文化圏・多様な価値規範をもつ地域間のコミュニケーションはどうあるべきか、また国際共通言語である英語や英語圏について、主として学ぶ。異文化コミュニケーション論を中心に、アメリカ文学、イギリス文学、英米文学特別講義、英語学特別講義などの科目を学習する。また平和研究、国家間のコミュニケーションの視点から対外政策論や平和研究を学ぶことも大切である。

## 英語

国際語としての英語を最重要科目として位置づける。プレイメントテストおよびTOEICなどの受験を通して、各自は自分の英語の力を常に客観的に把握し、目標を定めて学習を継続することが肝要である。12段階の英語力レベルに応じてクラスを編成する。長期休暇中に開設されるTOEIC受験対策講座も積極的に活用すること。入学から4年後の目標に向かって、少しずつでもよいので能力アップを心掛けることが大切である。

## 英語以外の外国語

中国語が重点外国語であるほか、フランス語、スペイン語、ロシア語、朝鮮語、アラビア語など多種の

言語を学べることは、国際学部の特徴と言える。また留学生は必ず能力に応じた日本語Ⅰ～Ⅳを受講し、卒業までに日本語能力試験1級の資格をとるように努力すること。

## 情報処理

パーソナル・コンピュータを正しく理解・操作し、自在に利用できる能力を身につけることを目標としている。情報化時代にあっては情報処理の知識・技術の習得は必須である。長期休暇中に実施される情報処理資格取得のための受験講座を活用して、卒業までに複数の資格を取っておくこと。

## 実習科目

- **海外語学研修** 英語力の強化には、海外語学研修は大きな教育効果を持っている。そのために信頼できる海外提携大学を特定し、ホームステイを条件とした語学研修を計画する。また中国語力の強化のために中国への海外語学研修も用意されている。
- **海外スクーリング** 海外で諸外国の実情を体験し、国際社会で共存、協力することの必要性を身体で理解するための重要な科目として位置づけている。事前の学習、実施後のレポート提出によって、単位が認定される。
- **ボランティア活動** ボランティア精神は、地域社会そして国際社会に生きる思想的原点ともいえる。この精神をできるだけ育成するため、全学年を通し、休暇中も利用してボランティア活動を積極的に行ってほしい。授業への参加と一定期間のボランティア活動によって単位を認定する。

## ライセンス科目

定められた資格の取得に応じて、所定の単位数を認定する。それぞれの科目ごとに詳細な資格例と認定単位数が決められている。単位の認定には上限も設けられるが、語学、情報のほか各種のビジネス関連の資格にも対応する。就職活動に有利となるため、4年間に各自の目標を定めて計画的かつ地道に努力すれば、自信にもつながる。

## 教職科目

教育職員免許状の取得を目的とする科目。免許の取得を目指す学生は「教育職員免許状取得のための課程」を熟読すること。また教職指導室を最大限に活用することが必須である。

## 演習・専門研究

1年次基礎演習、2年次～4年次専門研究の科目は、全科目中で最も大切とすべき科目に位置づけられる。各クラスは10名前後の少人数規模の授業とする。毎週出席し、担当教員から大学生活全般および進路についての指導も受けることができる。各年度ごとの目標に沿った学習を進めると同時に履修相談、進路相談も緊密に行うこと。

## 4. 「国際学専攻」で取得できる教育職員免許状の種類

免許状の種類		教科名
中学校	中学校教諭一種免許状	英語
		社会
高等学校	高等学校教諭一種免許状	英語
		地理歴史
		公民

## 5. 進級について

国際学部では次のような進級制度を設けている。2年次の学生で修得単位数44単位未満のものは留年となるが、仮進級が可能となる場合もある。(進級制度に関する内規)

## 6. 履修の方法について

### (1) 授業

本学では、学生が自ら選んで作った履修計画により、各授業担当教員の許可を得て学習に努め、試験に合格すれば単位が与えられる。

その結果、所定の科目および単位が修得できれば卒業となる。(学則第28条)

授業の単位計算は6ページの通りである。(学則第21条)

- ・1年間に履修できる上限単位数は50単位(1年次～3年次)までとし、4年次に限り履修単位の上限を設定しない。

(年次別履修単位数に関する内規第1条)

### (2) 履修科目の登録

履修登録期間内にメディアセンター内のコンピューターを使って登録を行い、後日必ず教務学生課に個人時間割を受け取りに来ること。

前期登録は、前期・通年・集中科目を登録し、後期登録は後期科目を履修登録する。履修上限は前期・後期30単位まで、年間を通して上限50単位まで履修することができる。(卒業単位に含まれないものはその限りではない)。

次のような履修は認められない。

- ・履修登録をしていない科目の履修。
- ・単位修得をした科目の再履修。
- ・同一時限に配当された2つ以上の科目の履修。

### (3) 履修登録手続

①指定された期限を厳守の上登録。登録完了後「時間割表」を受領して確認をすること。

- ・時間割表については別途配布する。

②履修登録は、必ず本人が行うこと。特別な理由により遅れた場合は、その理由の証明書(病気の場合は

診断書)を提出すること。

③必修科目、外国語科目等のクラス編成について別途指示する。

④時間割上で、必修科目が重なった場合は、下級学年の科目を優先して履修する。

履修方法等の疑問点は、自分勝手な解釈や第三者の判断を受けてそのままにすると、卒業要単位を取得できない事態を生じかねないので、遠慮なく教務学生課へ相談すること。

半期2単位の科目は、前期又は後期のみに配当されているものが多いので履修計画に際して注意すること。

## 7. 試験について

### (1) 授業科目を履修した時は試験等を行い単位が与えられる。(学則第24条)

試験の方法は期末定期試験(前期及び後期)、論文、レポート、試問、その他とする。

- 1) 授業日数の2/3以上の出席がない者は単位の認定が行われない。
- 2) 学生証を携帯していない者は試験を受けることができない。
- 3) 授業料を納付していない者は試験を受けることができない。
- 4) 試験の成績は100点から80点までを優、79点から70点までを良、69点から60点までを可とし、可以上を合格とする。59点以下を不可とし、不合格とする。

### (2) 期末定期試験

前期試験(7月中旬～7月下旬)及び後期試験(1月下旬～2月上旬)は日時を定めて、一斉に行う。その詳細は別途指示する。試験時間は原則として50分である。

### (3) 受験心得

- 1) 学生証は試験監督者が点検しやすいように机上通路側に呈示しておく。
- 2) 答案用紙には学年、学籍番号、氏名を必ず明瞭に記入する。
- 3) 試験室では許可されたもの以外はバック等に収納する。
- 4) 試験中は物品を貸し借りしてはならない。
- 5) 試験開始後20分以上経過した遅刻者及び、試験中一度退室した者は試験室に入ることはできない。
- 6) 試験開始後30分を経過するまでは、答案用紙を提出し退出することはできない。
- 7) 答案用紙は所定の箇所に提出すること。答案用紙を試験室以外に持ち出すことはできない。
- 8) 試験監督者の指示に従わなければならない。
- 9) 試験中、私語をしたり、不正行為と疑われるような行為は厳につつしむこと。
- 10) 試験中、不正行為を行った者は「試験不正行為取扱いについての内規」(注1)により、処分する。
- 11) 学生証不携帯者は受験することができないので仮学生証の交付を受けること。手数料は1枚(1日)300円である。
- 12) 携帯電話の電源は切っておく。

(注1)「試験不正行為取扱いについての内規」(抜粋)

(処分)

- 第4条 不正行為をおこなった学生については、不正行為のあった日より2週間の停学とし、その延長、短縮はしない。
- 第2条 停学期間は在学期間に算入する。
- 第3条 前期又は後期試験の期間内に不正行為をおこなった場合、当該期の全ての履修科目の単位は認めない。  
ただし、専門ゼミナールを除く。
- 第4条 試験前試験時の不正行為の取扱いについては、前期、後期試験時と同じ扱いとする。

#### (4) 追試験

- 1) 下記に示すやむをえない事由に該当し、試験に欠席した者は、その事由を証明する文書(診断書、証明書等)を添えて欠席した日より3日以内に追試験受験願を提出することができる。

欠席事由

- ①二親等以内の親族の死亡の場合(二親等の姻族は除く)
  - ②傷病の場合
  - ③就職試験日と重なった場合
  - ④その他やむをえない事由(交通機関の事故等)による場合
- 2) 相当の理由があると認められた者について追試験を行うことができる。追試験の方法については筆記試験、レポート等、担当教員の指示による。
- 3) 4年次後期における学生が、上記の事由に該当し追試験受験願を提出するときは、3日以内に願い出るものとする。この場合再試験に準じて取扱う。

#### (5) 再試験

- ①全学年を対象に再試験を行う。
- ②上記該当者の受験科目は当該年度に登録し、試験で不合格となった科目に限る。
- ③再試験に合格した場合は、すべて60点の評価で単位が認定される。
- ④再試験を受験しようとする者は、所定の手続きをしなければならない。
- ⑤再試験の受験料は、1科目3,000円とする。

#### (6) 成績発表

学年成績は成績表を交付して通知する。

## 8. 再履修等について

再履修等については別途指示する。

## 9. 単位互換について

学則第26条第1項目に基づき下記の大学と単位互換を実施する。同条第2項に基づき修得した単位は30単位を越えない範囲で、本学の卒業単位として認定する。

## (1) 放送大学

- ①放送大学の科目を修得できるのは2年次以上とし、4年次については放送大学の2学期の出願は認めない。
- ②単位互換の履修単位は年次別単位数に関する内規に定める単位に含む。従って履修届には互換科目名を記載し単位数を加えなければならない。
- ③放送大学に出願するにあたり履修科目の選定は、単位認定試験日程に注意すること。また、出願後の科目変更・取消はできない。
- ④所定の出願手続を経て当該大学の特別聴講生として受け入れ決定後、放送大学については学費（授業料のみ1単位4,500円）を納入しなければならない。
- ⑤放送大学の学費は教材及び学生証の受領上、本学が一括納入するか、当該学生は履修届提出後、指定の期日までに必ず納入すること。
- ⑥放送大学の学費は一旦当該学生が全額納入し、単位修得後本学が1/4を負担する。
- ⑦放送大学の履修できる科目は本学で教育上有益と認めた科目とする。

## (2) 千葉県私立大学、短期大学、単位互換協定締結加盟校

### 大学（23大学）

- |         |         |           |
|---------|---------|-----------|
| ①愛国学園大学 | ②江戸川大学  | ③川村学園女子大学 |
| ④神田外語大学 | ⑤敬愛大学   | ⑥国際武道大学   |
| ⑦秀明大学   | ⑧淑徳大学   | ⑨城西国際大学   |
| ⑩聖徳大学   | ⑪清和大学   | ⑫千葉経済大学   |
| ⑬千葉工業大学 | ⑭千葉商科大学 | ⑮中央学院大学   |
| ⑯帝京平成大学 | ⑰東京情報大学 | ⑱東京成徳大学   |
| ⑲東洋学園大学 | ⑳二松学舎大学 | ㉑明海大学     |
| ㉒麗澤大学   | ㉓和洋女子大学 |           |

### 短期大学（15短期大学）

- |             |              |            |
|-------------|--------------|------------|
| ①江戸川女子短期大学  | ②三育学院短期大学    | ③昭和学院短期大学  |
| ④聖徳大学短期大学部  | ⑤清和女子短期大学    | ⑥千葉短期大学    |
| ⑦千葉敬愛短期大学   | ⑧千葉経済大学短期大学部 | ⑨千葉明德短期大学  |
| ⑩帝京平成短期大学   | ⑪東京経営短期大学    | ⑫日本基督教短期大学 |
| ⑬日本橋女学館短期大学 | ⑭和洋女子大学短期大学部 | ⑮植草学園短期大学  |

- ・出願に関する詳細は教務課まで問い合わせること。

## 10. コース別推奨科目について

国際ビジネス系2コースおよび国際教養系2コースのそれぞれに推奨科目を設ける。コース毎の学習目標に沿って、体系的な科目履修ができるように配慮してある。カリキュラムの区分毎に定められた推奨科目をできるだけ修得すること。